

聖愛

せいあい

VOL.46

2012.4.10
発行

ケアマンション聖愛ホーム

〒871-0162 大分県中津市大字永添2744
TEL 0979-23-2255 FAX 0979-23-2250



社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団
いずみの園

Spring has come!



観梅ドライブ

1000本の梅の木が植わっているといわれている福岡県築上町の綱敷天満宮に梅の花見に出かけました。梅の花はちょうど見ごろで境内はふくいくとした香りに包まれていました。

多田一三先生の後を受けて昨年の11月、九州キリスト教社会福祉事業団理事長に就任しました富永健司と申します。どうぞよろしくお願いたします。また、この3月31日をもって聖愛ホーム袖潤三枝子ホーム長はその職を退任されました。多田先生、袖潤ホーム長は創設者と、その片腕として1978(昭和53)年いずみの園創設以来、34年の長きにわたってご苦労を共にしてこられました。高度成長、高齢化社会という時代の変化を見通しながら、県内第一号のデイサービスセンター設立やホームヘルパー事業、ケアハウス建築など県内でも先駆的な取り組みを行い縦横無尽の活躍をされました。お二人の退任の痛手は計り知れないものがありますが、先輩の遺された財産貢献を継承できるように全職員が一致協力して頑張っております。

時を同じく、別府にありますが社会福祉法人栄光園の理事長職も受け継ぎました。栄光園は創立60年を迎えるキリスト教の施設で、親御さんのない乳児院、児童養護施設と保育園(二か所)を経営しています。この3月17日には、県の支援を得て子どもたちのためのグループホームと心理棟が落成しました。子どもの養育放棄や虐待は社会問題となっており、九州キリスト教社会福祉事業団の仲間入りをした栄光園の支援も本格的に取り組んで参ります。国は社会保障制度の改革のトップに「未来への投資、子ども子育て支援」をあげ、大分県は「子育て満足度日本一」を目標にしています。少子高齢社会の中で、私たちの役割をしっかり果たし、地域の期待に応えたいと念願しています。

事業団の基本理念は「キリスト教の愛と奉仕の実践」であり、信・望・愛をモットーとして事業を進めます。聖書に出てくる、追いはぎに遭い半死となった路傍の旅人を救う「良きサマリア人」のように、ホスピタリティ(もてなし)の心でご利用者を大切に对应してまいります。今後ともご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。



九州キリスト教社会福祉事業団
理事長 富永健司

『良きサマリア人』

就任のあいさつ

既に入居された土台をしっかり受け継いで歩ませて頂きます。

多くの方々の祈りと願いと努力があり支えがあつて今日があるということをご改め願います。

夢をもつて形作られました。またそこには



この度袖潤前ホーム長の後任としてホーム長に就任しました堤 健生と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

聖愛ホームは福

が表わす通り、一人ひとりを大切に個性や自

ホーム長
堤 健生

退職あいさつ



「見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。」イザヤ書65・17」

入職時はいずみの園創立2年目の年で、小規模ながらも若い職員が活発と仕事をしていた。明るい雰囲気印象的でした。急速な高齢化が進む中、福祉行政はめまぐるしく変遷し、画期的な介護保険制度を生み出しました。いずみの園も開設以来、社会のニーズに 대응べく挑戦と成長を続け今日に至っています。中でも聖愛ホーム開設は、私自身にとっても大きなチャレンジの計画でした。「長くなった高齢期を安心して

は新しい天と新しい地を創造する。イザヤ書65・17」32年6ヶ月在職させて頂いた頂きました。その間、皆様のお守りと多く

て豊かに自分らしく暮らしたい」という心身ともに自立した、前向きで進歩的な高齢者のための新しい概念の老人ホームでしたから。今は多くの入居希望者が待機されています。私は入居者の方たちに高齢期の幸せな生き方を随分学びました。冒頭の言葉は、東日本大震災の被災地の人々が復興に向けて懸命に努力されている様子を見て示された聖書の御言葉です。そして同時に、これは新理事長の下新しくなつたいずみの園や聖愛ホームに、そして退職する私自身にも約束して下さっている言葉だと思ひました。今後も祈り続けていきたいと思ひます。

前ホーム長
袖潤三枝子



思い出の玉手箱



長年の交友に感謝する袖潤前ホーム長



毎年12月に素晴らしい歌声を披露して下さる中津メールハーモニーの皆さんが、東日本大震災からちょうど1年たった3月11日に聖愛ホームを訪れ、メモリアムとなるコンサートを行いました。私たちにできることはなんだろうと考え続けた1年間でした。微力でも各々ができることをして時間とともに忘れることなく復興を祈り続けることが大切であると、改めて感じました。

メールハーモニー3月11日を忘れない
「ありがとう」コンサート

運動会



納涼祭



入居者さんとティータイム



聖愛ホームでの生活

入居者 植山 徳明様 (88歳)



平成22年の4月に入居したので、聖愛ホームでの生活は丸2年になります。妻が亡くなってから17年間は一人で生活していました。身の回りのことはしていました。今後の食事や入浴の準備に不安を感じたので、中津市社会福祉協議会を通じて入居できる施設を調べました。友人の付き添いで多くの施設を見学に行ったこともあります。大きなホールで入居者どうしが自由に歓談している様子を見て、中津にもこんな施設があるというのと思っていました。そんな時、仕事の関係で聖愛ホームを知って見学をしました。優秀な施設だと思いました。気に入って申し込んで今に至っています。

できたなあと感じる頃にはすでに歳をとり、ひとり暮らしになって寂しく、体の不調が出てきて老後の心配をしています。

そんな不安を抱えながら聖愛ホームに入居したのですが、ここでの生活に慣れてくるにつれ「家族以上の親しい縁をいただいた。安心して幸せに暮らせる。」と思うようになりました。

ひとり暮らしの時心配していた食事は3食おいしいものが提供され、季節の献立、誕生日のお祝い膳などありがたい心使いを感じます。食事、入浴、独居の不安が解消されたので趣味に没頭でき、現在カラオケと囲



碁を楽しみにしています。カラオケは若い人との交流があり、発声して健康にも良く、気持ち明るくなります。囲碁は頭を使うし、勝負事ならではの楽しさがあります。

趣味に熱中することで外に出ていくきっかけができ、部屋に閉じこもることがないので運動にもなっています。

男性の平均寿命は79・64歳。私はとうに超えました。これからは健康に留意して、命を終えるその時まで趣味をするために出ていきたいというのが、今の私の願いです。



聖愛ホームの入居者は学んでいます!



脳トレ部

昨年の4月に発足した脳トレ部はクロスワードとまちがいさがしのクイズをして、感覚、直感をつかさどる右脳を鍛えています。初めのうちは「英語やカタカナの言葉はわからない」とか「字や絵が小さくてわからない」など苦手な方が多かったのですが1年間続けると「クロスワードでいろいろな言葉を覚えるのが勉強になる」「間違いを7つ見つけるコツがわかってきた」「クイズに熱中していると無心になれる」など意欲的なご意見が聞かれます。満点が連続することもあり、継続することによって生まれる力を実感しています。

ホールで仲よく勉強会



「Perfect!」は満点の証

スマイルクラブ



お気に入りの作品をもってハイチーズ!

手芸や折り紙など手仕事を楽しむ「スマイルクラブ」は熱心な参加者に支えられてとても活気のあるクラブ活動です。

1月、2月の2回にわたって編み物に取り組み、かぎ針編みの可愛いマフラーを完成させました。

皆さんは決して手芸の達人ではないのです。編み物でいえば一昨年は指編みでミニマフラー、昨年はかぎ針編みに挑戦して鎖編みと細編みを覚えてニットブローチを作りました。そして今年は長編みを習得してすてきなマフラーを作れるまでになりました。皆さんのがんばりに拍手です!

どんどん上達しています!



指編みマフラー ニットブローチ とてもかわいいマフラー

地域の皆様のご協力に 心から感謝申し上げます

ホール作品展

- 1月 鶴居コミュニティセンター『趣味の表装教室』の皆さんによる「表装作品展」
- 2月 地域の教会の皆さんによる「聖句書道展」
- 3月 沖代公民館『絵手紙教室』の皆さんによる「絵手紙作品展」

歌と朗読のひととき

声楽の岡里子様、朗読の「虹の会」の皆さんによる声の競演会。オペラやBGM入りの朗読劇を聞いて、しばし観劇気分を味わいました。また、聖愛ホーム俳句クラブの皆さんが作った句集の句を朗読して下さい、よい記念になりました。



インフルエンザが猛威をふるった冬季に最も注目を集めたホットドリンクがコレ！

生姜葛湯です。生姜と葛の組み合わせで冷え知らず！健胃効果、解熱作用があり、一年を通じてオススメです！

<作り方はとっても簡単>

- 生姜のしぼり汁…1片分
- 本葛…小さじ1~2
- 蜂蜜…小さじ2
- 三温糖…小さじ1
- お湯…180ccくらい



- ・本葛の粉をカップに入れて少量の水でとく。
- ・湯を注いで、残りの材料を入れてよく混ぜる。
- ・砂糖が溶けて、とろみ、つやがでてきたらできあがり！お試してください。

ふと思ひ出します。数々の言葉が「マンネリ化しない・させない」「フオリティを上げなさい」「気づきなさい。心配りしなさい」「自分が楽しいみなさい」長崎弁で「○○さあ〜」全てが私たちの仕事への姿勢となっています。ご指導を懐かしく思います。

あとがき

今年度はホーム長の交代により新体制のもと新たなスタートを切ります。その中で先人の苦労やそれを支えた多くの方々のご協力をいつも心に留め、開設理念を大切にし健全な施設運営に努めます。

地域の行事に参加しました!!

城下町中津のひなまつりに 手作りおひなさまを展示

中津市の初春の行事として定着した「城下町中津のひなまつり」が今年も市内諸町を中心に開催されました。

「壹万円札の里」にちなんで、ひなまつり会場で1万体の手作りおひなさまを飾ることになり、聖愛ホームの皆さんも制作に協力し、約100体のおひなさまを作りました。作り手の個性が出て一つとして同じものがなく、見ていて飽きません。自分が作ったおひなさまを見つけられたかな？



ラジオ体操で健康作り！

毎朝のさわやかな習慣、ラジオ体操に数多く参加された方への表彰を行いました。今年は1年365日のうち355回（スゴイ！）参加された安廣芳子様が多参加賞を受賞しました。



《安廣様のコメント》

まさか自分が受賞できるとは思わなかったのでとてもうれしいです。ラジオ体操をして体の節々を伸ばすことが健康に良いように思います。おかげ様で体調が良いです。これからも動ける間はできる限り続けます。

健康教室

講師：いずみの園 リハビリ課主任
高倉 哲也 理学療法士

「転倒予防について」

健康な日常生活を送るために転倒の原因を知り転倒予防のポイントを学びました。

高齢の方にとって、転倒とは骨折だけの問題ではなく、それ以降の生活全般に重くのしかかってくるものだということがわかりました。日常どこでも行える転倒予防体操も教えてもらいました。



いずみの園総合防災訓練

備えあれば憂いなし。昨年の東日本大震災以降は想定にとられない備えが求められ、日頃から防災意識を持つことの大切さが繰り返して述べられています。聖愛ホームでは毎月防災訓練を実施し、避難経路の確認や装備の点検を行っています。大震災から1年が過ぎた3月は、いずみの園総合防災訓練に参加しました。入居者の皆さんは装備を整えて避難訓練を行い、職員は1秒でも早く避難を呼びかける訓練や事業所ごとの連携などを学びました。



日々の積み重ねを大切に！